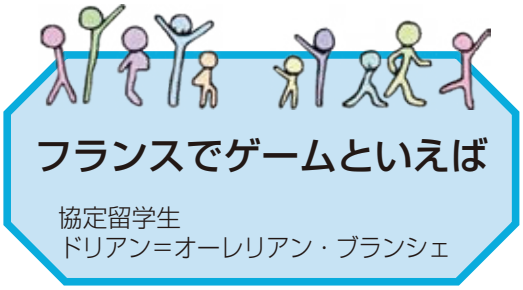

フランスでゲームといえば

協定留学生
ドリアン＝オーレリアン・ブランシェ

昔から、ゲーム（娯楽）は人々の生活に幅広い影響を及ぼしてきました。古代ローマでは、ジュリアス・シーザーはサーカスによって多くの人々の心を支配することができました。また、オリンピックやサッカーのワールドカップの試合などのビッグイベントでは一つのチームの名のもとに国中が団結することもできてしまうのです。とはいってもゲームにはもちろん、友達と愉快な時間を過ごすというもっと単純で具体的な目的もあります。

まずさいしょに、「ペタンク Pétanque」という南フランスを代表するスポーツを紹介したいと思います。フランスの風俗習慣は地方によってずいぶん異なります。そのため、ペタンクのルールも種類は多いものの、大まかなルールは変わりません。ペタンクは小さな目印の近くに金属のボールを投げるゲームですが、それには技巧と熟練が必要です。2人もしくは2つのチームで競って、ポイントを持っていないチームはポイントを獲得するまでボールを投げます（小さな目印から最も近くに投げることが大切です）。ポイントを獲得するためには、さまざまなテクニックが可能です。基本的なテクニックのひとつには、小さい目印を狙い金属ボールをゆっくり投げて、相手より近くに位置することです。他のテクニックにはボールを強く投げて、小さい目印ではなく、相手のボールを狙って遠くに飛ばしてしまう事です。そうすれば、自分のボールが目印に近づきやすくなります。全てのボールがなげられたら、目印に近いボールがそれぞれ1ポイント獲得します(最も近いボールを持つチームのみに得点が与えられます)。先に13ポイント獲得したチームの勝ちです！

フランスで、もう一つのとても盛んなゲームは「ブロット Belote」という長い歴史を持つカードゲームです。このゲームでは、集中力と戦略が勝利の決定的なカギを握っています。4人を2チームに分け、それぞれ5枚ずつカードを配ります。カードに応じて、1人のプレイヤーは切り札（スペード、クラブ、ダイヤまたはハート）を選択します。その後、各プレイヤーは再び3枚のカードを受け取り、合計8枚になったら、ゲームが始まります。各カードは特定のランクとポイント数があります（例えばキングはクイーンより強い）。ゲームには162ポイントが必要で、切り札を選択したチームは8つのトリックで80ポイントを達成しなければなりません（各プレイヤーは順番にカードをプレイします）。また、ポイントを獲得するための手役の種類も多いので、迅速かつ効果的な決定を下す必要があります。相手の戦略を読んで対応するのも重要です。

愛知大学のフランス語の授業でもそうしたゲームを体験することができます。とりあえずやってみましょう！